

○通学路「子ども110番の家」

子ども110番の家の目印や名前

子ども110番の家の地図

事件・事故にあったら（見たら）……

【報告・連絡】

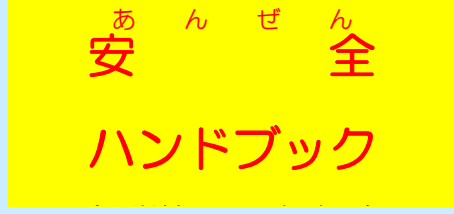
○けいさつ（110番）、しょうぼう（119番）へ連絡する。

○連絡・報告するあいては……

- ・ちかくにいる大人
- ・おうちの人
- ・学校・・担任の先生など

○連絡・報告するときは……

- ・おちついて何があったかはなす
- ・できるだけこまかく、ていねいに



災害や事故から身を守るために このハンドブックを活用しましょう！

【学校名】

【学校住所】

【学校電話番号】

名前

緊急連絡先

○上記の者が事件・事故にまき込まれた場合、御連絡をお願いします。

本カードは、文部科学省作成「「生きている力」をはぐくむ学校での安全教育」を参考に、学校・地域・家庭が協力をして児童生徒の安全を目指すために作成いたしました。

●事件・事故がおこったら？

- ・落ちついてこうどうする。
- ・大きな声をだし、ほうはんフサイをならす。
- ・まわりの人にケケンをしらせる。
- ・おしん者に声をかけられたら
- 歩き、自転車に乗った人から声をかけられた。
- ・あいてにちかつかない
- 自動車にのった人から声をかけられた。
- ・車のドアよりまえに立つ。
- ・車の進むほうこうとときやくににける。

●事件・事故のすゝあとには？

- ・その場所をはなれない。
- ・大人の話しをよきく。
- ・助けてくれる人に事故のようすをはなす。
- ・おうちの人がむかえに来るまで帰らない。
- ・おうちの人がむかえに来るまで帰らない。

●安全にひなんしましょう！

- ・助けてくれる人の話しをよきく。
- ・大人といっしょにこうどうする。
- ・おうちの人がむかえに来るまで帰らない。

●事件・事故がおこったら？

- ・落ちついてこうどうする。
- ・大きな声をだし、ほうはんフサイをならす。
- ・まわりの人にケケンをしらせる。
- ・おしん者に声をかけられたら
- 歩き、自転車に乗った人から声をかけられた。
- ・あいてにちかつかない
- 自動車にのった人から声をかけられた。
- ・車のドアよりまえに立つ。
- ・車の進むほうこうとときやくににける。

●事件・事故のすゝあとには？

- ・その場所をはなれない。
- ・大人の話しをよきく。
- ・助けてくれる人に事故のようすをはなす。
- ・おうちの人がむかえに来るまで帰らない。
- ・おうちの人がむかえに来るまで帰らない。

●安全にひなんしましょう！

- ・助けてくれる人の話しをよきく。
- ・大人といっしょにこうどうする。
- ・おうちの人がむかえに来るまで帰らない。

●事件・事故がおこったら？

- ・たてものから、とびださない。
- ・大人の話しをよきく。
- ・もっているにもつで、頭をまもる。
- ・ものがおちてきそうな場所や動いてくゝるものがない場所
- にうつる。
- ・にけるのはゆれがおさまってから。

●事件・事故のすゝあとには？

- ・ゆれがおさまってからあんぜんな場所につくる。

【安全にひなんしましょう！】

- ①まわりの人とひなん。
- ②助けてくれる人のいうことをきく。

がっこう・おうち ひなんはしよへ

生活安全 (おしん者被害)

交通安全

災害安全 (おしん・かみなり・とつぷう等)



【事件・事故がおこったら？】

安全の目標

【安全教育の目標】

毎日の生活での安全

- 安全な生活習慣や態度を身につける
- 自分やまわりの人の命を大切に

安全安心な社会づくりへの参加

安全への心がまえ

行動する力

【小学校で身につけること】

- ①安全のためのきまり・約束を守る
- ②身の回りの危険に気づく
- ③危険について、先生やお家の人に知らせる
- ④助けてくれる大人の言うことをきく

課題

対応・準備と心得

【防犯】

あぶない目にあわなかったためには？

○「声かけ」事案の発生状況

- 「いつもの道だから……」と……油断から発生
- 一人でいるときに発生することが多い
- 「声かけ」をうける時間は……
 - ①午後4時台
 - ②午後3時台
 - ③午後5時台
- 《午後の発生が多い》
- 被害を受ける半数は小学生

平成24年	被害全体	2,714人
	うち小学生	1,435人

【通学における対策】

○安全に登下校するためには……

- 《キケンなばしょはどこか知っておく》
 - 方一のときに「助けてくれるお家」などを調べておく。
 - 子ども110番の家やお店、公共のしせつなど
 - 学校からの帰り道で、人の通りがすくなくおりや明りのない道はなるべく通らない。
 - ひとりで帰らない。友だちといっしょに帰るようにする。
 - 防犯ブザーを持ち、いつでも使えるようにする。

○不審な人に声をかけられたら……

《“逃げる”“知らせる”》

- はつきりことわり、そのばしょからにげる。
- 大きな声を出してまわりに自分のキケンを知らせる。
- けいさつや学校へ被害を知らせる。(大人に話す)
- 防犯ブザーを持ち、いつでも使えるようにする。

○危ない目にあわなかったための「あいことば」

- 「いか」… 知らない人についていけない
- 「の」…… 知らない人の車にのらない
- 「お」…… たすけて！とおおきな声をだす
- 「す」…… 連れて行かれそうなきときはすぐにはげる
- 「し」…… 近くの大人に何ががあったかしらせる

【交通安全】

交通事故に気をつけよう！

○交通事故は……

- とび出しによる交通事故が多い
 - 一時停止をしない
 - 左右の安全がたりない
- 下校している時や家に帰ってからの事故が多い
 - 歩きや自転車でのとび出し
 - あそびに行くときや帰る時の事故
 - 交通ルールを守らなかつたための交通事故

【交通事故を防ぐために】

○約束を守る

○まわりの安全をかならず確認

○交通事故防止5つの行動（心がけ）

- 「もしかして」…… キケン予測
- 「とまる」…… 一時停止
- 「みる」…… 安全確認（左右）
- 「まつ」…… 安全確保
- 「たしかめる」…… もう一度確認

《交通安全のやくそく》

○道路を歩くときの約束

- 歩道を歩きましょう
- 歩道のない道路では右側を歩きましょう
- 道路に出るときは、一度止まって左右を確認
- 道路をわたるときは、左右をたしかめて、クルマが来ないことを確認
- 信号が「赤」や「青の点滅」ではわたらない

○青信号でも左右の確認

・道路標識をかならずまもる

○自転車に乗るときの約束

- 学校やお家のひととの約束をまもる
- ヘルメットをかぶりましょう
- 交差点では止まって左右を確かめる

【災害】

自分の命は自分で守る

○災害はいつおこるかわからない

- じぶんの命をまもる方法を身につける。
- やくそくを守り、助けてくれる人の言うことをきく。

○「キケン・あぶない」と災害を知ることがでる

- まわりのようすからキケンを予測する力
- キケンをさけて命をまもる行動ができる力

【“自分の命は自分で守る”を心がける】

○地震がおこったら

- 頭を守る ・ 建物の中にいる場合慌てて飛び出さない ・ 物が「おちてこない」「いどうしてこない」「たおれてこない」場所に避難
- 助けてくれる大人の言うことをきく

○カミナリが聞こえる、黒い雲が近づいてきた

- 頭や首を守る ・ がんじょうな建物の中に避難する ・ 部屋の中に入ら、壁・窓から離れ、中央による
- 電柱や樹木も倒壊の危険あり、近づかない

○ハザードマップ（地域安全マップ）の作成と活用

- 学校やお家のまわりの様子を知る。 ・ 地域にかくれているキケンを知る。

つうがくろ こ ぼん いえ
○通学路「子ども110番の家」

こ ぼん いえ めじるし なまえ
子ども110番の家の目印や名前

こ ぼん いえ ちず
子ども110番の家の地図

じけん じこ
事件・事故にあったら（見たら）……

ほうこく れんらく
【報告・連絡】
○警察（110番）、消防（119番）
へ連絡する。

れんらく ほうこく あいて
○連絡・報告する相手は……
・近くにいる大人
・家族
・学校・・担任の先生など

れんらく ほうこく
○連絡・報告するときは……
・落ちついて何ががあったか話す
・できるだけ細かく、ていねいに

あんぜん 全 ハンドブック (小学校4～6学年用)

さいがい しこ み まち
災害や事故から身を守るために
このハンドブックを活用しましょう！

【学校名】

【学校住所】

【学校電話番号】

な まえ
名前

きんきゆうれんらくきき
緊急連絡先

○上記の者が事件・事故にまき込まれた場合、御連絡をお願いします。

ほん ぶんぶかがくしやうさくせい い
本カードは、文部科学省作成「「生
きる力」をはぐくむ学校での安全教
育」を参考に、学校・地域・家庭が協
力をして児童生徒の安全を目指すた
めに作成いたしました。

●事件・事故がおこったら？
・大きな声を出し、ほうはんフザーをならす。
・周りの人に知らせる。
・不しん者に声をかけられたら
○歩き、自転車に乗った人から声をかけられたら
・相手に近づかない
○自動車にのった人から声をかけられたら
・車のドアよりまえに立つ。
・車の進む方向とはぎやくに逃げる。
●事件・事故のすぐあとには？
・明るいところ、人がおっているところをめざして逃げ
る。
・逃げるときも声を出し、まわりに知らせる。
・たすけてくれる大人になにかが話す。
・話す内容はできるだけこまかく。
●安全に避難しましょう！
・できれば家族と連絡をとる。
・おうちの人がむかえに来るまでその場所を動かない。

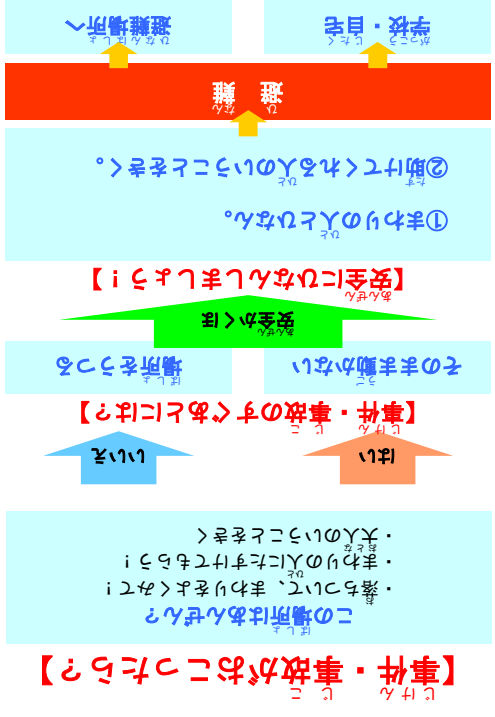
せいかいあんぜん 生活安全 (不しん者被害)

●事件・事故がおこったら？
・落ち着いて行動する。
・けががなくとも、周りに助けを求める。
・けががなくとも、周りに助けを求める。
・大人の話をよくきいて、落ち着いて行動する。
・けがなくとも、周りの人に、自分の
・周囲の人に、自分の
を伝える。
●事件・事故のすぐあとには？
・近く、強いカゼのとき
・まんなで身をかがめる。
・逃げるときがよい時は、大きな木や電柱からはなれ、
身をかがめる。
●安全に避難しましょう！
・今いる場所からいちばん近い避難所にむかう。
・避難所にいる大人に助けを求める。
・お家の人がむかえに来るまでその場所を動かない。

こうつうあんぜん 交通安全

●事件・事故がおこったら？
・たてものから、飛び出さない。
・大人の話をよくきいて、落ち着いて行動する。
・持っている荷物で、頭をまもる。
・ものが落ちてきそうな場所や動いてくるところがない場所に
うつる。
・ゆれがおさまるまで無理に動かない。
●事件・事故のすぐあとには？
・ゆれがおさまってから安全な場所につくる。
●安全に避難しましょう！
・できれば家族と連絡をとる。
・今いる場所からいちばん近い避難所にむかう。
・避難所にいる大人に助けを求める。
・お家の人がむかえに来るまでその場所を動かない。

さいがいあんぜん 災害安全 (地しん・かみなり・とつうぎ)



【事件・事故がおこったら？】

【安全教育の目標】

毎日の生活での安全

- 安全について理解し、行動できる
- 自分のまわりの人の命を大切に
- 安全な生活を送れる基礎をつくる

安全安心な社会づくりへの参加

安全への心がまえ

行動する力

【小学校で身につけること】

- ①安全に行動することの大切さがわかる
- ②安全のためのきまり・やくそくを守る
- ③危険の原因や事故の防止について理解する
- ④身の回りの危険に気づく
- ⑤危険について、先生やお家の人に知らせる

- ⑥助けてくれる大人の言うことをきく
- ⑦安全な行動をとることができる
- ⑧安全について周囲への気配りができる
- ⑨簡単な応急手当てができる

課題

対応・準備と心得

【生活安全】あぶない目にあわないためには？

○「声かけ」事案の発生状況

- 「いつもの道だから……」と……油断から発生
- 一人でいるときに発生することが多い
- 「声かけ」をうける時間は……
 - ① 午後4時台
 - ② 午後3時台
 - ③ 午後5時台
- 《午後の発生が多い》
- 被害を受ける半数は小学生

平成24年	被害全体	2,714人
	うち小学生	1,435人

【通学における対策】

○安全に登下校するためには……

- 《危険な場所はどこか知っておく》
- ・万一のときに「助けてくれるお家」などを調べておく。
- ・子ども110番の家やお店、公共の施設など
- ・学校からの帰り道で、人の通りが少ない通りや明りのない道はなるべく通らない。
- ・一人で帰らない。友だちと一緒に帰るようにする。

○不審な人に声をかけられたら……

《“逃げる”“知らせる”》

- ・はっきり断り、その場所から逃げる。
- ・大きな声を出して簡りに自分の危険を知らせる。
- ・警察や学校へ被害を知らせる。(大人に話す)

《逃げるときには……》

- ・歩いてる人、自転車に乗った人から声をかけられた時には……相手の人に近づかない。
- ・自動車を運転している人から声をかけられた時には……車のドアより前に立つ。
- ・にげるときは、車のすすむ方向とは逆に。

○地域安全マップの作成と活用

- ・学校周りの地形や建物の特長を調べて活用する。
- ・地域安全マップを作り、危険が発生しそうな場所を確認する。
- ・逃げ込める場所や子ども110番の家など、安全な場所を確認する。

○危ない目にあわないための「あいことば」

- 「いか」… 知らない人についていけない
- 「の」…… 知らない人の車にのらない
- 「お」…… たすけて！とおおきな声をだす
- 「す」…… 連れて行かれそうときはすぐにげる
- 「し」…… 近くの大人に何があったかしらせる

【交通安全】交通事故に気をつけよう！

○交通事故は……

- ・とび出しによる交通事故が多い
- ・一時停止をしない ・左右の安全がたりない
- ・下校している時や家に帰ってからの事故が多い
- ・歩きや自転車でのとび出し
- ・あそびに行くときや帰る時の事故
- ・交通ルールを守らなかったための交通事故

どちらも不可欠！

【交通事故を防ぐために】

○交通ルールを守る

○約束を守る

○道路を通るときは周囲の安全確認

○交通事故防止5つの行動（心がけ）

- 「もしかして」…… キケン予測
- 「とまる」…… 一時停止
- 「みる」…… 安全確認（左右）
- 「まつ」…… 安全確保
- 「たしかめる」…… もう一度確認

○道路を歩くときの約束

- ・歩道を歩きましょう
- ・歩道のない道路では右側を歩きましょう
- ・道路に出るときは、一度止まって左右を確認
- ・道路をわたるときは、左右をたしかめて、クルマが来ないことを確認
- ・信号が「赤」や「青の点滅」ではわたらない
- ・青信号でも左右の確認
- ・道路標識をかならずまもる

○自転車に乗るときの約束

- ・学校やお家の人との約束をまもる
- ・ヘルメットをかぶりましょう
- ・交差点では止まって左右を確かめる
- ・周りに迷惑をかけたたり、危険な運転はやめましょう

かささし運転 横並びで走る並走
 ジグザグ運転 スピードを出しての運転
 運転以外のことをしながらのながら運転
 二人乗り

【災害安全】“自分の命は自分で守る”

○災害はいつおこるかかわからない

- ・自分の命をまもる方法を身につける。
- ・約束を守り、助けてくれる人の言うことをきく。

○「ケン・あぶない」と災害を知ることができる

- ・まわりの様子からケンを予測する力
- ・ケンをさけて命をまもる行動ができる力

【自身の安全第一、自分の命は自分で守る】

○地震の場合

（避難行動）

- ・頭や首を守る
- ・屋内にいる場合慌てて飛び出さない
- ・物が「落ちてこない」「移動してこない」「倒れてこない」場所に避難
- ・慌てて「火」を消そうとしない。揺れがおさまってから消火
- ・公共の施設等に居る場合、係員の言うことを聞いて避難
- ・助けてくれる大人の言うことに従って避難
- （事前対策）
- ・通学する途中にある避難できる場所を確認する
- ・簡単な応急手当の習得

○雷、突風が近づいてきた場合

（避難行動）

- ・頭、首を守る（腕や適当なもの）
- ・直前、直後等状況に応じた避難行動をとる。
- ・屋内に避難する
- ・落雷、飛来物に注意する
- ・屋内では、壁・窓から離れ、固定された家具等の陰で安全確保を図る
- ・電柱や樹木も倒壊の危険あり、近づかない
- （事前対策）
- ・外出の際、天気予報や気象に係る注意報の確認と情報収集
- ・簡単な応急手当の習得

○ハザードマップの作成と活用

- ・地域の地形、建物形状や位置を理解する。
- ・地域にかくれている危険を知る。
- ・災害発生が予測される場所からの避難の確認をする
- ・万一のために、自宅近くの避難所を確認する。

○道路を歩くときの約束

- ・歩道を歩きましょう
- ・歩道のない道路では右側を歩きましょう
- ・道路に出るときは、一度止まって左右を確認
- ・道路をわたるときは、左右をたしかめて、クルマが来ないことを確認
- ・信号が「赤」や「青の点滅」ではわたらない
- ・青信号でも左右の確認
- ・道路標識をかならずまもる

○地震の場合

（避難行動）

- ・頭や首を守る
- ・屋内にいる場合慌てて飛び出さない
- ・物が「落ちてこない」「移動してこない」「倒れてこない」場所に避難
- ・慌てて「火」を消そうとしない。揺れがおさまってから消火
- ・公共の施設等に居る場合、係員の言うことを聞いて避難
- ・助けてくれる大人の言うことに従って避難
- （事前対策）
- ・通学する途中にある避難できる場所を確認する
- ・簡単な応急手当の習得

○雷、突風が近づいてきた場合

（避難行動）

- ・頭、首を守る（腕や適当なもの）
- ・直前、直後等状況に応じた避難行動をとる。
- ・屋内に避難する
- ・落雷、飛来物に注意する
- ・屋内では、壁・窓から離れ、固定された家具等の陰で安全確保を図る
- ・電柱や樹木も倒壊の危険あり、近づかない
- （事前対策）
- ・外出の際、天気予報や気象に係る注意報の確認と情報収集
- ・簡単な応急手当の習得

○ハザードマップの作成と活用

- ・地域の地形、建物形状や位置を理解する。
- ・地域にかくれている危険を知る。
- ・災害発生が予測される場所からの避難の確認をする
- ・万一のために、自宅近くの避難所を確認する。